

科目名	障害の理解	担当講師	飯塚秀利・若井隆弘・藤井友和・大学担当者・福田智久
授業形態・単位数	講義 60 時間・4 単位	開講学年	1 学年
評価基準	筆記試験（中間試験・定期試験 その他課題の提出状況など）		
目標	1 障害とは何か理解できる。 2 視覚、聴覚、言語障害のある人の生活が理解できる。 3 運動、内臓器、知的、精神障害のある人の生活が理解できる。 4 障害が及ぼす心理的影響・日常生活への影響について理解し、障害のある人への理解を深める。		
回	講義内容		方法
1	身体障害とは～指導・訓練の必要な人達から支援の必要な人達へ～	(飯塚①)	講義
2	身体障害のある人への介護の基本視点	(若井①)	講義
3	身体障害者の施設での生活（施設福祉について）	(飯塚②)	講義
4	基本的視点に基づいた身体障害のある人への個別支援	(若井②)	講義
5	障害のある人への介護の基本視点（知的障害）	(飯塚③)	講義
6	基本的視点に基づいた個別支援（知的障害）	(若井③)	講義
7	家族支援とは～家族状況の把握と介護負担の軽減～ （身体障害）地域での生活を支えるための条件、社会資源の利用・開発	(飯塚④)	講義
8	基本的視点に基づいた身体障害のある人への個別支援	(若井④)	講義
9	身体障害者施設での生活と介護の基本視点	(飯塚⑤)	講義
10	身体障害者施設での生活	(若井⑤)	講義
11	地域での生活を支えるための条件	(飯塚⑥)	講義
12	身体障害者施設での生活と介護の基本視点	(若井⑥)	講義
13	社会資源の利用・開発 地域サポート体制（保健・医療・福祉・教育・労働サービス連携）	(飯塚⑦)	講義
14	生活のしづらさ（生活障害）の支援	(若井⑦)	講義
15	身体障害者の施設での生活	(飯塚⑧)	講義

回	講 義 内 容	方 法
16	中途障害者への支援サポート体制 (若井⑧)	講 義
17	中間試験 (福田①)	中間試験
18	内部障害のある人の生活 (呼吸器機能障害) (根生①)	講 義
19	内部障害のある人の生活 (脳血管障害) (伊藤①)	講 義
20	褥瘡 (伊藤②)	講 義
21	内部障害のある人の生活 (心臓機能障害) (萩原①)	講 義
22	内部障害のある人の生活 (消化器機能・直腸機能障害) (萩原②)	中間試験
23	知的障害とは、発達障害とは (藤井①)	講 義
24	知的障害者の施設での生活 (施設福祉について) (藤井②)	講 義
25	高次脳機能障害・発達障害・重症心身障害のある人の生活 (福田②)	講 義
26	視覚障害・聴覚・言語障害・精神障害のある人の生活 (福田③)	講 義
27	内部障害のある人の生活 (腎機能・膀胱障害) (堀越①)	講 義
28	難病 (根生②)	講 義
29	難病 (根生③)	講 義
30	定期試験 (福田④)	定期試験
	テキスト・参考書	新・介護福祉士養成講座 13 障害の理解